

## 薬 剤 部

病棟薬剤業務の一つとして退院処方区分、処方内容、日数の適正化を行い、退院処方請求漏れ防止に努めた。また、退院に向けて服薬自己管理の方法として「お薬カレンダー」を取り入れ、退院後のアドヒアランス維持に取り組んだ。「在宅成分栄養経管栄養療法管理料」の算定手順を標準化したことで、経腸栄養管理患者退院時の必要物品提供と管理料算定漏れを減少させた。

周術期の抗菌薬使用についてガイドラインをもとに各診療科の協力を得て適正化を図った。抗菌薬使用の適正化によって、薬剤部における注射調剤業務や看護師の抗菌薬投与に係る業務も軽減される結果となった。

2016年度からPBPM (Protocol Based. Pharmacotherapy Management)を導入しているが、今年度、新たに7項目を追加し医師の負担軽減に取り組んだ。

### 【スタッフ】 (平成30年3月31日現在)

薬剤師	38名
事務職員	3名
パート助手	2名

### 【認定資格】

がん薬物療法認定薬剤師	1名
外来がん治療認定薬剤師	1名
抗菌化学療法認定薬剤師	1名
腎臓病薬物療法認定薬剤師	1名
小児薬物療法認定薬剤師	1名
認定実務実習指導薬剤師	4名
リウマチ財団登録薬剤師	1名
日本糖尿病療養指導士	4名
NST 専門療法士	5名
医療情報技師	1名

### 【調剤業務】

	総合病院	クリニック
院外処方率	75.4%	90.6%
入院調剤処方せん枚数	71,379	枚
入院注射処方せん枚数	140,573	枚
透析院内処方せん枚数	2,740	枚
老健院内処方せん枚数	5,150	枚

### 無菌製剤処理料 2 (1以外のもの)

件数	5,352	件
金額	4,140,800	円

### 無菌製剤処理料 1 (悪性腫瘍注射)

件数	749	件
金額	442,350	円

### 【病棟業務】

薬剤管理指導	12,668	件
年間金額	43,130,650	円
退院時服薬指導件数	3,997	件
年間金額	3,597,300	円
病棟薬剤業務実施加算 1	551	件
病棟薬剤業務実施加算 2	1,895	件
年間金額	2,067,000	円

### 【薬学生実務実習受入】

受け入れ数	35	名
実習料	9,890,545	円
岐阜薬科大学	24	名
愛知学院大学	2	名
名城大学	3	名
金城学院大学	4	名
鈴鹿医療科学大学	2	名

